

実 用 新 案 公 報

昭33-10983

公告 昭 33.7.28 出願 昭 31.4.11 実願 昭 31-18180

出願人 考案者 大 瀧 信 四 郎 川崎市溝の口 192
代理人 弁理士 市 川 一 男 外 2 名

(全 2 頁)

二 重 蓋 容 器

図 面 の 略 解

第 1 図は一部を切断した本案二重蓋容器の正面図、第 2 図はその平面図で、第 3 図は外蓋を取外した状態を示す斜面図である。

実 用 新 案 の 説 明

本案はバター、マーガリン、ジャム、アイスクリームその他の食品或は各種の物質を収容するのに適する二重蓋容器の改良構造に関するものである。

図面において 1 はカップ状をなす容器主体で、その内側に内蓋 2 を嵌込むと共にその上端部外周に鍔縁 3 を設ける。この鍔縁 3 は外方がやや低くなるように傾斜させるのが好ましい。4 は容器主体 1 の上部にかぶせる外蓋で、その周縁には容器主体 1 に設けた鍔縁 3 に重ねてこれと接着せしめるための鍔縁 5 を設ける。

本案の容器は以上のように構成されているので、容器主体 1 内に収容物を充填し、内蓋 2 を嵌込んだ後、容器主体の上部に外蓋 4 をかぶせ、その鍔縁 5 を容器主体の鍔縁 3 の上に重ね両者を接着させれば容器は完全に密封される。

なお容器主体 1、内蓋 2、外蓋 3 は収容する物

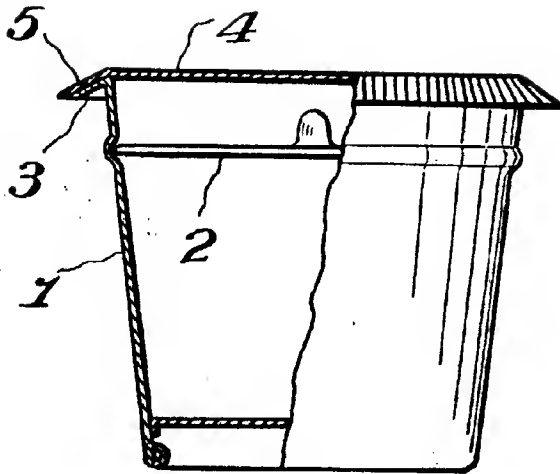
品の性質に従つて適当に選ぶもので例えば防水耐油耐酸等の処理を施した厚紙合成樹脂その他適宜の材料を以て作製する。又鍔縁 5, 3 の接着にはこれら材料の性質に応じて最も適切な接着剤又は接着手段を選ぶものとする。

本案の容器は以上のように構成されているので、その構造極めて簡素で安価に提供し得るのみならず二重蓋による完全密封のため内容物の保存を良好ならしめると共に容器自体の強度を増すことができるもので実用上まことに有益である。又内蓋と外蓋との間の空隙部は広告や説明書の類又は内容物を使用するとき必要な附属品、例えばスプーンなどを収納するのに利用することができて甚だ便利である。なお使用に当つては接着した鍔縁の基部を鋏等で切取つて外蓋を取去り内容物のなくなる迄内蓋を使用するものとする。

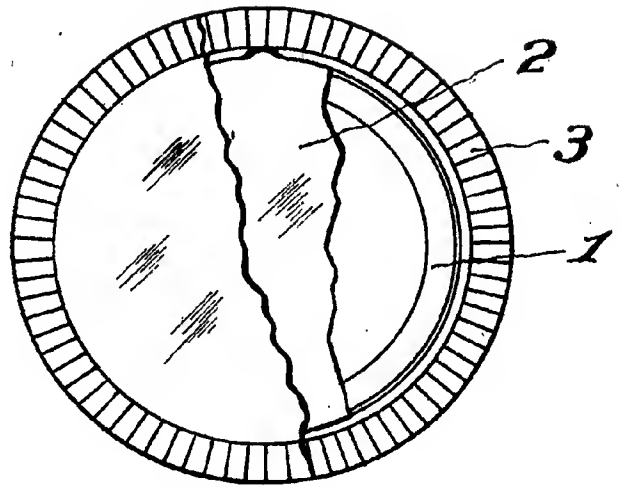
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示すように内側に内蓋 2 を嵌込みその上端部外周に鍔縁 3 を設けた容器主体 1 の上部に外蓋 4 をかぶせ、外蓋 4 の外周に設けた鍔縁 5 を前記容器主体に設けた鍔縁 3 に重合接着して成る二重蓋容器の構造。

第1圖



第2圖



第3圖

